

愛のメッセージ



ソプラノ
松本早苗

先日、心打たれる一編の詩に出会いました。その歌詞に今迄感じた事がない感動を覚えたので、ここに紹介させて頂く事を先ずお許し頂きたいと思う。

「マイバラード」松井孝夫 作詞・作曲

① みんなで歌おう 心を一つにして
悲しい時も つらい時も
みんなで歌おう 大きな声を出して
恥ずかしがらず 歌おうよ

心燃える歌が 歌がきつと君の元へ
きらめけ世界中に 僕の歌をのせて
きらめけ世界中に 届け愛のメッセージ

② みんなで語ろう 心をなごませて
楽しい時も うれしい時も
みんなで語ろう 素直に心開いて
どんな小さな 悩み事も

心痛む思い たとえ君を苦しめても
仲間がここにいるよ いつも君を見ている
僕らは助け合って 生きてゆこういつまでも

心燃える歌が 歌がきつと君の元へ
きらめけ世界中に 僕の歌をのせて
きらめけ世界中に 届け愛のメッセージ
届け愛のメッセージ

昨年起こった東日本大震災に依り、被災された方々に明日に向けて勇気を！と、それぞれの立場の人から歌が届けられた。
不思議な力を持つ歌が、多様化する人間関係の中で、正に心をつなぐ架け橋である事と同時に、今、絆が、お互い生きて行く上でいかに

大切であるか、そして当たり前の日々が、何事にも変えがたい幸福な事であるかと、考えさせられる今日この頃である。
これからも色々な歌との出会いがあると思うが、心を、又、思いを感じながら歌って行きたいと思うし、被災に遭われた皆様に、一日も早く幸福が訪れます様に願う今日此の頃である。
改めて尚一層、歌は私の生甲斐と感ずる。
歌って 本当に素晴らしい！！

大正は私の心の「ふるさと」



アルト
榊原孝子

合唱の力で、天上の蓋が開けられる瞬間を感じた時は、とても感動しました。
キリスト教徒でなくても亡き人々を思って歌いたいと思っていましたから、音楽の力は偉大である！
モーツァルトの偉大さ！にとても感動しました。

大阪島之内(心斎橋)で生まれた私には「ふるさと」と呼べる所はありません。
大正フロイデの団員さんの中には、大正で生まれ育ち、家庭を持ち、学生時代の友人同士でフロイデに入り、歌われている方もいると聞き、大変うらやましく思っていました。
昨年十二月、札幌に向う飛行機の窓から京セラドームが見えたとき、思わず大正フロイデの皆様を思っ手を振っていました。
手を振っている私の「ふるさと」は、いつの間にか大正になっていくと感ずて、嬉しくなってきました。
次に大阪城が見え、「あれがはずみホール」と、視界に入った時、昨年のいずみホールでのあの感動が再び甦って来ました。
一部を歌い終わり、二部で「モツレク」を歌い始めて間もなく、合唱の音が天上に昇っていくのを感じました。
この時「美しい！」「これが私たちの声！」と驚きました。

岡林先生にこの事をお話ししましたら、「ホールに声が合った時に、声が昇るのですよ」「声がホールに合い、昇るのは難しい事ですすよ」と教えて頂きました。
あの時の感動を忘れる事は無いと思います。
改めて、諸先生方にこの紙面をお借りし、お礼を申し上げます。
本当に細かな所までご指導頂き、ありがとうございます。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。

合唱を続けられる幸せ



アルト
山田節子

歌は大好きです！
童謡から民謡、祖父とのダイヤル争いに負けて聞かされていた浪曲に至るまで！大正区に第九の合唱団が出来た。
うわあー、参加したい。でも練習は夕食の時間帯。無理だなあーと諦めかけた時、二人の同級生の事が思い浮かびました。
ほぼ同じ時に手術をして、病気は治っているのに、ち

よつとした事で落ち込んでしまふ、そんな友人二人にすぐに電話しました。
私も申し込むから一緒に参加しよう！
最初の練習日、友人知人が沢山、合唱団(現・大正フロイデ)に来ていました。
第九との出会いは、二十数年前、娘二人が買ってくれたシンフォニーホールのチケット。
主人が仕事で行けなくて、まだ学生だった息子と聞きに行つたのが最初です。自分が歌うことになるとは、鳴門や日本武道館に行けたこと、いずみホールでの五周年のコンサートは最高でした。
初めはとても無理だと思つていた、モーツァルトのレクイエムを歌えたことも。第六回に向つて新たな気持ちで頑張ります。
最初は不機嫌だった主人も、今日は金曜日か！と、協力的になり、強引に誘つた友人の方が今では積極的

にいつも席を取って待つていてくれますので、遅れ乍でも休まず出席しています。
病気や親の介護など、様々な理由で続けられなかった方も沢山おられます。
続けさせて頂ける幸せ、そしてこの様な機会を与えて下さった方々や先生方、お世話下さる皆様に心から感謝致します。